

第68回卒業式

3年生159名本日卒業
新しい自分という未来が
今、始まる

本日3月1日、第68回卒業式が行われ、159名の3年生が茅室高校を卒業する。そこで今回3年生にクラスでの思い出や担任の先生へのメッセージのアンケートを取った。また、茅高に入ってから良かったか、合唱祭中止の是非についても聞いた。

茅高新聞

■発行所■

北海道河西郡茅室町東めむろ
1条北1丁目6番地
北海道茅室高等学校
新聞局

■発行責任者■

鈴木 菜々美

■印刷所■

有限会社 拓美印刷

〈目次〉

◆1面◆

3年生クラス紹介
学年全体アンケート

◆2面◆

卒業生独占インタビュー
グローバル人材育成
プロジェクト

◆3面◆

秘密のオープンSHOW
Shops in Memuro

◆4面◆

夢にときめけ先輩につづけ
先生からの挑戦状
局説
キミにきーめた
編集後記

3年間振り返り
アンケート！

Q1

3年間を振り返って茅高
に入学して良かったか。

はい 104人
いいえ 22人
どちらでもない 6人

Q2

来年度、合唱祭を復活
して欲しいか。

はい 58人
いいえ 64人
どちらでもない 14人

8割が
「入学して良かった」
今回、クラスアンケ
ート以外に学年全体に
アンケート（上図参
照）を取った。

Q1では「はい」と
いう人が約8割で大多
数を占める。

理由は「友人も学校
生活も恵まれた」、「周
囲に配慮して行動でき
るようになった」、「部
活が充実していた」、

「他学年と仲が良かっ
た」などの回答。

逆に「いいえ」の理
由は「精神レベルが低
い」、「他の学校がうら
やましくなったことが
あった」とのことだ。

3年生が茅高で過ご
した3年間に、合唱祭
の中止というできごと
があったが、これには

「輝ける場所がなくな
った」、「行事が減って
寂しい」、「歌いたかつ
た」、「生徒に意見を聞
き自分達で決められな
かったのか」と残念な
声が多かった一方で

「実施されたら進路関
係で大変だった」、「勉
強に回す時間ができて
良かった」、「受験のた
めには仕方が無い」と
の回答も多く、Q2

「次年度復活」には「い
いえ」がやや優勢とな
った。

（鈴木菜々美）

（五十嵐・小川・鈴木菜々美）

3B 行事では、無敵

B組は「にぎやか・
騒がしい」という声が
圧倒的。そうした中、
「たくさん笑顔の溢れ
るソーダ水のようなは
じけたクラス」とい
う、素敵な表現も。

思い出・事件はやは
り「茅高祭・体育大会
優勝」。行事で優秀な成
績を残した3Bならで
はの回答が目立つ中、
「〇〇の幽事件」とい
った「事件」が多くあ
った。（詳細については
という声があった。

3A 丁子先生愛溢れる

年次の「合唱祭で優秀
賞を取ったこと」とい
ったA組ならではのも
のから、「修学旅行で
寝坊した」、「メロンパ
ン6個もらった」、「〇
〇バースデー事件」な
ど、



3D 真面目で知的

D組は、「スイッチ
の切り替え（授業とそ
れ以外の時間でのけじ
め）ができるクラス」
また、「真面目」、「静
か」といった回答が多
く、落ち着いた雰囲気
のクラスという印象が
あるが、一部、「腹黒
い」という声も。これ
は二面性のあるクラス
ということなのか謎で
ある。

思い出・事件は「ハ
ロウィンの時に、皆カ
ラフルを歌った」とい
う声があった。

3C 明るく自由奔放

祭」という意見が最も
多かったが、「クラス
内での〇〇争い」や「台
風の時の出席者の件」
など、これまた自由奔
放なものが目立った。
ちなみに「先生に金
遣う言葉もあった。

魚をあげていた」、「ベ
タを先生の誕生日にあ
げたこと」という回答
があったが金魚が「ベ
タ」という名前なのだ
ろうか、疑問である。
担任の伊藤智昭先生
へは「ありがとうござ
います」など感謝の言
葉が多い中、「たまに
は一息つこうや」、「健
康に気をつけてくださ
い」というような日々
忙しい先生の体調に気
遣う言葉もあった。



北海道職員内定
櫻井 佑さん (3C)

住民と近い距離で仕事がしたい

櫻井佑さん(3C)が北海道職員を志望した理由は「人の役に立つ仕事がしたいと思ったから。北海道職員は住民と近い距離で仕事ができる」と語る。進路活動では「面接練習が大変だった」そう。就職後の目標は「住民からの意見や要望があった際に、それを解決するのが目標」と語る。

高校時代にやっていただいた方がいい事は、公務員試験で何度も面接が行われることや今後の職業を踏まえ、「喋る練習」と教えてくれた。

最後に、「立派な社会人になれるように頑張ります」と意気込みを語ってくれた。

インタビュー

3年間の高校生活にピリオドを打ち、未来への一步を踏み出す3年生。そこで今回は、北海道職員、国公立大学、私立大学、民間就職の道に進む4人に進路実現までの道のりと今後の目標について聞いた。

地域で活躍できる人になりたい

小峯ひとみさん(3A)は、英語を学びたいと思っていた。「看護学校にも行きたかったが、それよりも英語を学びたかったので、英語を学ぶ環境があり、なおかつ学費が安い大学が国公立の小樽商科大学だった」とのこと。「3年生の前期期末審査後に急ぎ、進路変更したため、準備期間が1ヶ月しかなかったから大変だった」と語る。進学後は「ボランティア活動を積極的に参加し、大学生活でしっかりと学んで、将来は地域で活躍できる社会人になれるよう色々とチャレンジする」と意気込んでいる。

最後に後輩へ「勉強はしておいたほうがいい。今後のためにも、テスト勉強はきちんとやるべき」と語ってくれた。



小樽商科大学進学
小峯ひとみさん(3A)

進学後もスケート続けます！

2月9日から帯広市で行われた第90回北海道スピードスケート選手権大会女子5000Mで8位に入賞した、木村有希さん(3B)。現在部活で行っているスピードスケートを進学後も続けるため、「多くの優秀な成績を残す青森県の八戸学院大学に進学しようと思った」とのこと。「推薦入試のため、面接練習を頑張った」と語る。

将来は「介護系の仕事に就くためにも資格を数多く取る。立派な社会人になって帰ってきます」と決意する。

最後に後輩へ「面接で自信を持って言える高い評定を取るとよい」と語った。



八戸学院大学進学
木村有希さん(3B)

仕事とバトンの二刀流

サンテクノ株式会社に入社が決まった養島風香さん(3D)。「就職活動で一番大変だったのは面接練習」と爽やかな笑顔で語る。サンテクノ株式会社は廃棄物の処理や、資源リサイクルなどの事業を行う企業。「いち早く社員さんの名前・顔・仕事を覚えたい」と意気込みを語る。

また、養島さんは現在、習い事でバトンをやっており、「今後でも会社に勤めながら、バトンの指導者になりたい」と夢を持つ。

最後に、「少し抜けてドジな自分の話を真剣に聴いてくれてありがとうございました」と担任の横濱優子先生に感謝の思いを述べた。



サンテクノ株式会社内定
養島風香さん(3D)

未来予想図、教えます。勉強が今後の道を切り拓く

グローバル
人材育成
プロジェクトに
1.2年 5名参加
~English is Fun!~



外国人にインタビューする
井戸尻鼓々さん(1A)

参加者は管内6校から生徒30名、教員5名。芽高からは5名の生徒が選出された。内容は1〜2グループに分かれて館内を見学した後、インタビュー形式で外国人に十勝の魅力について調査するというもの。

今回の感想を大西杏実さん(2B)は「外国人と話す機会はなかったの、いい経験、寺本みなさん(1C)は、「英語学習に向上心を持って取り組みたい」と思えるきっかけになった」と話した。

Shops in Memuro

芽室産

ごぼうでGO!



あんかけ焼きそばを堪能する局員!



地元の特産物をアピールする高橋シェフ



芽室あんかけやきそば HIROスタイル1,000円



こちらはHIRO独自のこ当地メニューのコーンたっぷりラザニア(2月14日までの販売)

このこと。なお、このメニューは町内6店舗で展開。レストランHIROの特徴は、「十勝産小麦の麺に塩ベースの餡、上に芽室産のゴボウを使ったゴボウチップを乗せることで

レストランHIRO
住所
芽室町本通2-8-1
営業時間
ランチ 11:30~14:30
ディナー 17:00~21:30
定休日 日曜日

芽室町のご当地グルメとして「十勝芽室コーン炒飯」が誕生して11年。昨年新たに誕生した芽室町のご当地グルメ、「芽室あんかけ焼きそば」を知っているだろうか。今回は、仕掛人の高橋広明さんに話を聞いた。

「十勝芽室コーン炒飯」が10周年となった昨年、「芽室あんかけ焼きそば」が誕生した。高橋広明さんは「コーン炒飯は観光で訪れた」と語る。

このあんかけ焼きそばのルールはゴボウのトッピング。これは「芽室町はゴボウの作付面積が日本一だから」



レストランHIROの外観

立体感を出している」とのこと。さらに冷製コンスープとサラダ、ソフトクリームのデザートも付いてくる。最後に高橋さんは「町内6店舗を食べ歩き、自分好みを見つけて」とPRした。(森)

個性が光るあんかけ焼きそば



逃走中の局員Sとハンター副局長 @芽高屋上



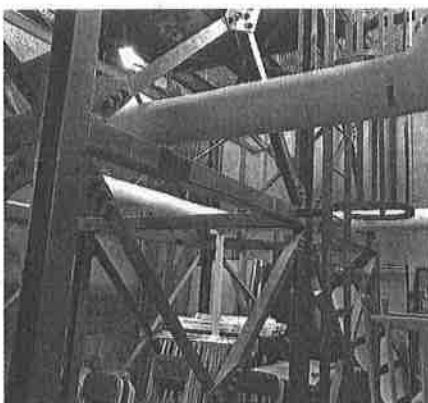
題字：高砂

2月1日、我々新聞局員は通常立ち入り禁止となっている水槽室と屋上へ潜入取材をした。芽高生初となる(?)水槽室潜入と冬の屋上。我々は新しい世界を見た。

芽高の頂点にひるがる光景 今、明かされる屋上・水槽室



屋上ではしゃぎ回る局員S



柵と椅子が並ぶ塩素の香り漂う水槽室

芽高祭時に垂れ幕係の生徒は屋上に入っているが、それも遠藤事務局長は「先生方の了解や付添が必要。生徒だけでは何かが起こっても責任を取れない。今後は屋上を開放することはない。」と語った。(鈴木麻)

4コマまんが「サゴのすみか」



ここ1LDKかな?



1LDKだけど塩素くさい



ここは何LDKかな



広いけど屋根ないやん

特別企画、秘密のオープンSHOW。今回、4階新聞局室隣にある扉を開け階段を上る元、普段は生徒立入禁止と...水槽室が目の前に。止である、水槽室と屋上。遠藤事務局長曰く、「こ

これは普段トイレや水飲み場の水を溜めるためにある。現在は本来の使い方ではないが、余った机、椅子置場として使われている。更に階段を上ると、遂に屋上だ。走ること



屋上の使用について語る事務局長

先生からの 挑戦状 Special

今年もやります。卒業生
担任の挑戦状。そして
恒例のアンケート
メッセージも...

アンケート質問
①クラスの良いところ
②クラスの思い出または事件
③クラスへのメッセージ

①私のことをさの気なハフオロー
してくれる所。あとは妹トーク
を何だかんだ聴いてくれる所。
(でも頼りなくてごめんなき!)

②芽高祭の行灯パレードでの「世
界に1つだけの花」の合唱。

③幸せになってください。

①私を助けてくれた人
で、お祝いをしてきましたが、こ
のクラスで後から10番目の誕
生日は誰だったでしょう。

A組

丁子詩織先生



D組

横濱優子先生



C組

伊藤智昭先生



B組

市山貴一先生



①底抜けに明るく賑やか。
②学校祭。減点タレントも総合優勝!
③豊かな人生を。

①前向きに学びに向かってくれた。
②学校祭前に雨を止めると言われ
たこと。(無理でした)

③本当に毎日楽しかったです。社
会人とり、自立したらそのたく
ましくなった姿、見せて下さい。

①前向きに学びに向かってくれた。
②学校祭前に雨を止めると言われ
たこと。(無理でした)

③本当に毎日楽しかったです。社
会人とり、自立したらそのたく
ましくなった姿、見せて下さい。

③本当に毎日楽しかったです。社
会人とり、自立したらそのたく
ましくなった姿、見せて下さい。

1月14日芽室町中央公民館で
行われた新春のむらさき席での一幕



「メッセージ性を大切にしてい
る」と語る桂三段さん

桂三段さんプロフィール

1976年帯広市生まれ
帯広市立第五中学校卒業後、芽室
高校入学。芽室時代はサッカー部
に所属。「J」リーグチームもあり
盛り上がっていた。弱かったが楽
しかった」



卒業アルバムより

「芽高祭では副チー
ム長になり、ステージ
で演奏をしていた」こ
ら創作を作り続けてい
る桂三段師匠だと思っ
た。札幌で師匠の落語
会があった際にグッズ
を卒業したものの、モ
ノマネ芸人の付き人だ
った中学時代の友人に
影響を受け、芸の道へ
進路変更し、上京する。
そして落語家になる
思いを固めた三段さん
は、桂三枝師匠(現在
の桂文枝)の元へ弟子
入りをお願いした」と
振り返る。

最後に「よく学校体験
にも行かず歯科技工士
の学校を選んで辞めて、
親に負担を掛け、将
来やりたいことはぜひ
一度体験し、自分で確
かめた方がいい。そし
て決めたなら真っ直ぐに
進んで」と結んだ。
(小川)

進路選択は 「自分で動く」

今回の「ゆめとき」は、落語家の桂三段さんを紹介します。
桂三段さんは帯広市生まれで芽高出身。歯科技工士の専門学校を経て落語の道へ進み、現在では各地で寄席を
行っている。三段さんに落語家になるまでの道筋、芽室生へのメッセージを語ってもらった。

先生編
Vol.2

26
きーめた

今回は土屋
校長先生を
紹介します



芽室高等学校校長の土
屋亮です。7月11日生
まれのかに座で、血液
型はOです。学生時代
の思い出は、学校祭準
と自分の未来に我慢
を夜中までやったこ
とや体育大会では朝練
や夜練をしたことです。
虚せず頑張って、自
分の力を最大限まで発
揮して欲しいと思います。

局説 今こそ、コミュニケーションを

「自分と同じ人
間はおらず、意
見は違ふのが当
然だ」という認
識を持つことが
大切だ。それを
踏まえ、相手の
立場を尊重すべ
きだろう。その
ためにまずは、
スマホを介さず
直接、意見交換
する機会を増や
せば良いのでは
ないか。そうす
ることが相手の
思いやれる一歩
ではないか。

編集後記

皆さんの思い出で
つくられたの先輩に
また届かないけれど、
つなぐためにせいに
なれるよう、一生懸命
に努力していきます。
わたしたちは、素敵な
せなはい達とすした
おもいでを胸に抱き、大
変な事があっても
大丈夫。安心してね!

顧問
鶴身 幸一

局長 鈴木菜々美(2D)
副局長 森 仁美(2A)
編集長 相川 愛実(2B)
編集委員 根元 七穂(2A)
高砂 萌衣(2B)
鈴木 麻央(2C)
五十嵐千歳(1C)
小川 結衣(1C)
石澤由香利
石澤由香利